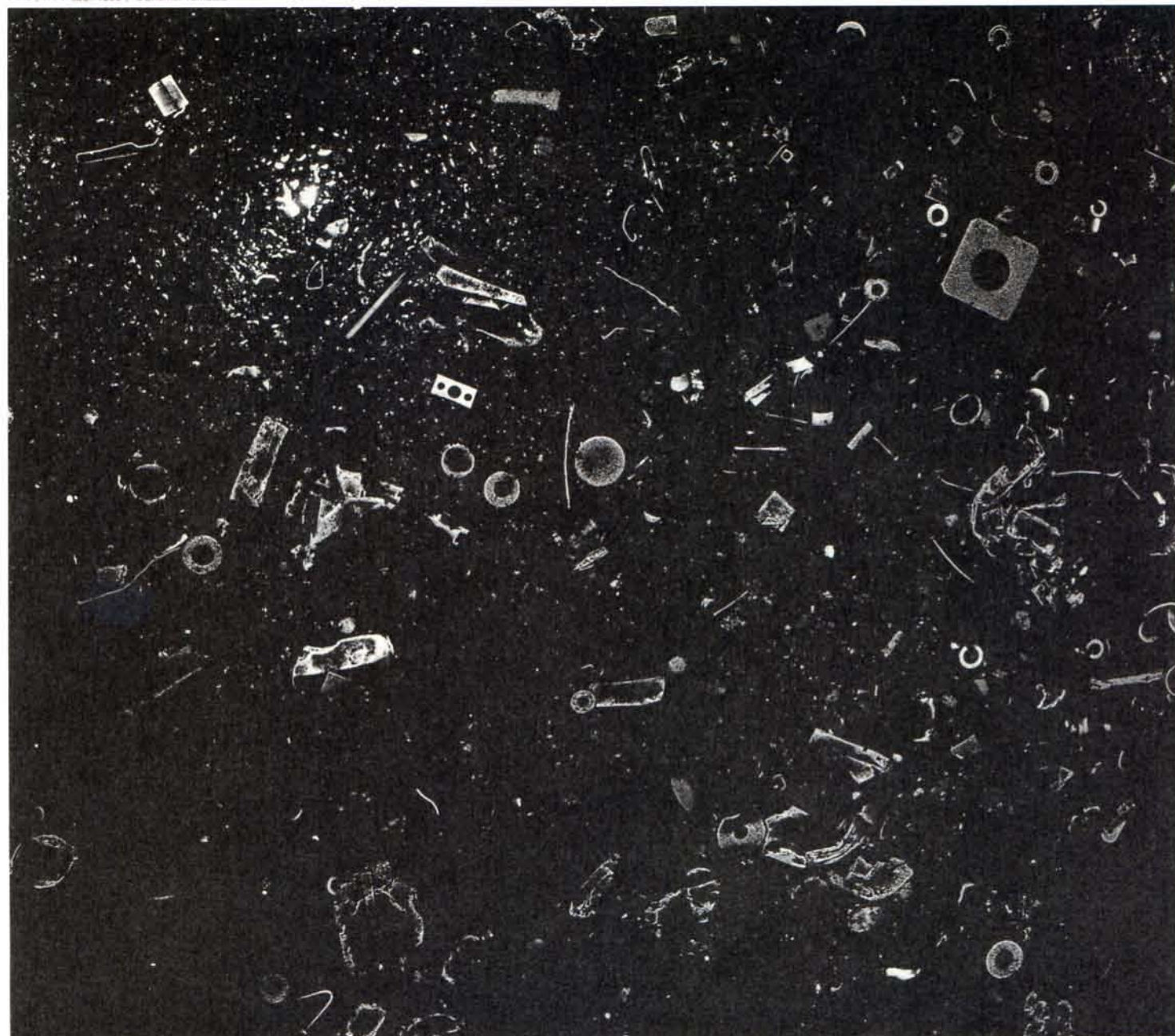




日本列島クロニクル — 東松照明の50年 TRACES — 50 years of Tomatsu's works

1999年2月6日(土)→4月4日(日)
東京都写真美術館2階企画展示室

開館時間 午前10時→午後6時(木・金曜日は午後8時まで)/入館は閉館時間の30分前まで
休館日 毎週月曜日(ただし3月22日は開館、翌23日休館)

主催 東京都写真美術館/朝日新聞社 協賛 大日本印刷株式会社

協力 富士写真フイルム株式会社/株式会社フレームマン/株式会社竹尾/株式会社ノックス/東武鉄道/サッポロビール

観覧料 一般600/480円/学生480円/小・中・高校生300/240円

常設展との共通観覧料 一般1,000/800円/学生800円/小・中・高校生500/400円

(内は20名以上の団体料金 小学生未満、65歳以上の方、障害のある方とその介護の方は無料 証明できるものをご持参ください)

お問い合わせ NTTハローダイヤル03-3272-8600 <http://www.tokyo-photo-museum.or.jp>

東松照明氏によるフリートーク「東松照明・自作を語る」

日時 2月6日(土)午後3時→5時 会場 東京都写真美術館1階ホール 入場無料 先着200名

 東京都写真美術館

日本列島クロニクル — 東松照明の50年 TRACES — 50 years of Tomatsu's works

このたび東京都写真美術館では、戦後日本を代表する写真家のひとりであり、世界的にも著名な東松照明(1930-)の個展「日本列島クロニクル—東松照明の50年」を開催いたします。

東松は20歳のときから写真撮影を開始し、今日に至るまでのほぼ50年間にわたって、戦後の日本と日本人の在り方へのこだわりとともに、独自のつよい造形思考が反映された作品を数多く制作してきました。岩波写真文庫のスタッフとして約2年間働いたのちフリーランスとなった東松は《地方政治家》(1957)によって注目を集め、その後も《家》《占領》といった話題作を次々に発表し、日本写真界におけるヌーヴェル・ヴァーグ(新しい波)の旗手として、後進の写真家たちへ絶大な影響を及ぼす存在となっていきます。

そして、被爆という想像を絶する現実の重みを見る者に刻印するかのように力強く迫るライフワーク《長崎》シリーズ(1961-)や、「沖縄に基地があるのではなく基地の中に沖縄がある」という状況にありながら、決してアメリカナイズされることのない沖縄の島々とそこに暮らす人々を捉えた『太陽の鉛筆』(1975)によって、日本の写真史上忘れられることのできない足跡を残しました。

沖縄との出会い以降に開始され、現在へ続くカラー作品群の数々《桜》(1979-)、《京》(1982-84)、《プラスチック》(1987-89)、《ニュー・ワールド・マップ》(1992-93)などは、圧倒的なまでの光(=色彩)の横溢の中から、東松固有の感受性の表れとともに、常に新しい可能性に挑戦する写真家の眼が追求める強烈な美意識を看取することができるでしょう。

本展は、写真家自身の手によりモノクロームとカラー作品をシリーズごとに編み直し、6部構成で自身の作品を集成する初めての試みです。学生時代の作品を含んだ第1部「戦後日本の光と影」から、長崎県の諫早湾を撮影した未発表のカラー作品《泥海「フリージング・アース」》(1996-97)を加えた第6部「インターフェイス」まで、本展は写真家・東松照明の多様な活動の全貌を捉える絶好の機会になることでしょう。

(出品予定点数:258点)

【展示構成】

第1部 戦後日本の光と影/第2部 長崎/第3部 沖縄
第4部 桜と京/第5部 ニュー・ワールド・マップ
第6部 インターフェイス

◎東松照明氏によるフリートーク:

「東松照明・自作を語る」2月6日(土)午後3→5時
東京都写真美術館1階ホール 入場無料/先着200名

◎フロア・レクチャー:

毎月第2・4金曜日より展示会担当学芸員による展示解説を行います。

◎次回企画展:

第3回東京国際写真ビエンナーレ
1999年4月11日(日)→5月23日(日)



1



2



3



4



5



6



7



8



9



10



11

- 1—皮肉な誕生 名古屋 1950年
- 2—地方政治家 福井 1957年
- 3—伊勢湾台風2 名古屋 1959年
- 4—オリンピック・カプリチオ1 東京 1962年
- 5—末次助作さん(1.4km地点で被爆 子供3人が死亡) 1961年
- 6—福田須磨子さん(1.7km地点で被爆 父母と姉が爆死) 1962年
- 7—波照間島 1971年
- 8—西表島 1972年
- 9—桜 岐阜・清見村 1985年
- 10—砂浜「プラスチック」千葉・九十九里浜 1987-89年
- 11—泥海「フリージング・アース」長崎・諫早湾 1996-97年



〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3
Tel. 03-3280-0031 NTTハローダイヤル 03-3272-8600
<http://www.tokyo-photo-museum.or.jp>
JR恵比寿駅東口より徒歩7分(恵比寿ガーデンプレイス内)
*お車での来館はご遠慮ください。